

# 取扱説明書

名称：5相ステッピングモータードライバー

型式：MC-S3ML

ご使用前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。  
この取扱説明書は、不明な点をいつでも解決できるように所定の場所に保管して下さい。



## 目 次

1.	安全にお使い頂くために	1 頁
2.	概要	3 頁
3.	本体及び添付品	3 頁
4.	各部の名称及び機能	4 頁
5.	取付	5 頁
5-1	取付場所の環境	5 頁
5-2	取付方法	5 頁
6.	ドライバーの機能切換設定	6 頁
6-1	駆動電流設定	6 頁
6-2	停止時電流設定	6 頁
6-3	ステップ角の設定	7 頁
6-4	機能スイッチの設定	7 頁
7.	入出力信号	8 頁
7-1	CW信号入力、CCW信号入力	8 頁
7-2	モーターフリー入力 H0	9 頁
8.	接続	10 頁
8-1	全体の接続例	10 頁
8-2	モーターの接続	10 頁
8-3	電源接続	11 頁
8-4	EMC指令と規格適合に有効な設置、配線方法について	11 頁
9.	仕様	13 頁
10.	外形図	14 頁

## 1. 安全にお使い頂くために

製品を安全に正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害及び財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書の警告、注意に従ってご使用下さい。






注意事項を守って頂けない場合どの程度の影響があるかを表しています。

 <b>警告</b>	人が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。
 <b>注意</b>	人が傷害を負う可能性が想定されること、及び物的損害の発生が想定されることを示します。

注意事項を守って頂けない場合に発生が想定される障害又は事故の内容を表しています。

 <b>発火注意</b>	発煙又は発火の可能性が想定されることを示します。	 <b>けが注意</b>	けがを負う可能性が想定されることを示します。
 <b>破損注意</b>	破損の可能性が想定されることを示します。	 <b>高温注意</b>	高温による傷害の可能性が想定されることを示します。
 <b>感電注意</b>	感電の可能性が想定されることを示します。		

### **警告**

一般事項	
 <b>発火注意</b>	◎爆発性の雰囲気、引火性ガスの雰囲気、腐食性の雰囲気、水、油、その他の液体のかかる場所、可燃物のそばでは使用しないで下さい。
 <b>破損注意</b>	◎通電状態で取付、接続、移動、点検の作業をしないで下さい。 電源を切ってから作業して下さい。
 <b>感電注意</b>	◎取付、接続、点検の作業は、専門知識のある人が行なって下さい。
 <b>けが注意</b>	◎ステッピングモーターは、負荷の大きさによっては停止時及び駆動時に脱調する場合があります。 特に上下駆動（Z軸など）の使用時に脱調すると搬送物が落下する場合があります。使用する負荷条件にて充分試験を行ない、確実に負荷を駆動できることを確認の上、ご使用下さい。
 <b>高温注意</b>	◎原子力関係及び生命に直接危険を及ぼす用途として設計製造されておりません。

## 接続



感電注意



発火注意



けが注意



破損注意



高温注意

◎接続は接続図に基づいて確実に行って下さい。

◎電源線やモーター接続線を、引っ張ったり挟み込んだりしないで下さい。

◎表示されている電源（DC24±5%）以外では使用しないで下さい。

## 駆動



感電注意



発火注意



けが注意



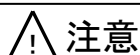
破損注意



高温注意

◎モーターフリー信号を入力すると、モータートルクは0（ゼロ）になり、搬送物を保持できない場合があります。

特に上下駆動に使用中この信号を入力すると、搬送物が落下し、けがや機器が破損する場合があります。



注意



発火注意



破損注意



感電注意



けが注意



高温注意

◎ドライバーの仕様値を超えて使用しないで下さい。

◎通電中及び電源切断直後は、モーター、ドライバーが高温になっている場合がありますので手や体を触れないで下さい。

◎駆動中、出力軸の回転体や移動体へは手、体、及び他の物を触れないで下さい。

◎モーターは駆動条件によって著しく温度が上がります。

◎モーターケース温度は90℃以下の状態で使用して下さい。

◎通電中は機能切換スイッチの変更を行なわないで下さい。けがの恐れがあります。

◎本装置は屋内で使用するよう設計、製造されたものです。過度の振動や衝撃の加わらない所に設置して下さい。

## 2. 概要

MC-S3ML型は、DC24V電源の5相バイポーラステッピングモータードライバーです。ペンタゴン駆動方式のため、従来のドライバーと比較して非常に低発熱、小型、軽量化されています。駆動対象モーターは0.12A/相~0.35A/相の多摩川精機、オリエンタルモーターの5相ステッピングモーターです。フルステップ、ハーフステップの切換え、及びパルス入力方式の選択がスイッチにより簡単に設定できます。

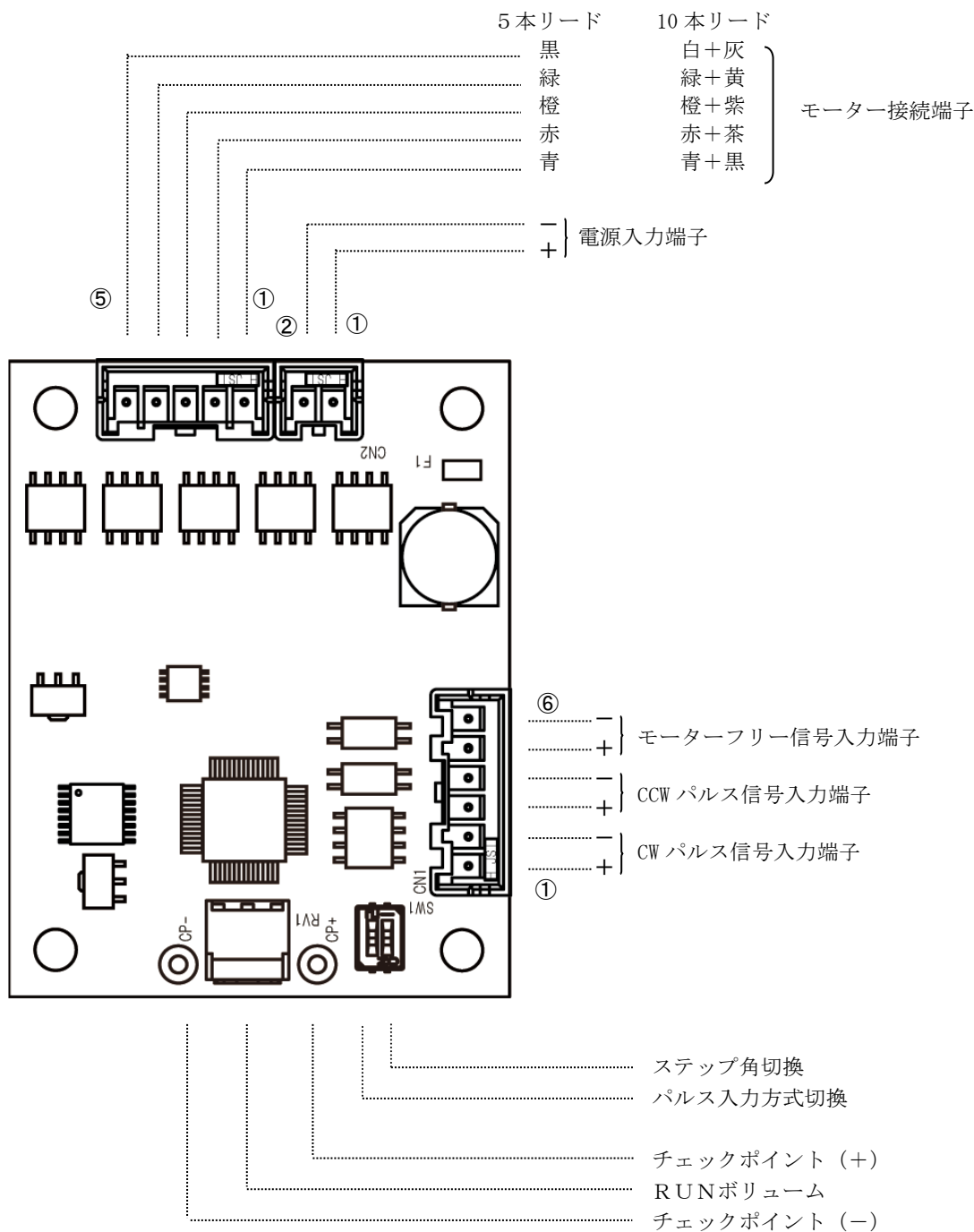
## 3. 本体及び添付品

以下の物がすべて揃っているか確認して下さい。不足している場合は最寄の取扱店、又は弊社営業部までご連絡下さい。

1	ドライバー	MC-S3ML	1台
2	電源コネクタ	(XAP-02V-1、JST)	1個
3	モータコネクタ	(XAP-05V-1、JST)	1個
4	信号コネクタ	(XAP-06V-1、JST)	1個
5	コネクタピン	(BXA-001T-P0.6、JST)	15個

(JST: 日本圧着端子製造㈱)

4. 各部の名称及び機能



## 5. 取付

### 5-1 取付場所の環境

本体は、下記の環境場所に設置して下さい。

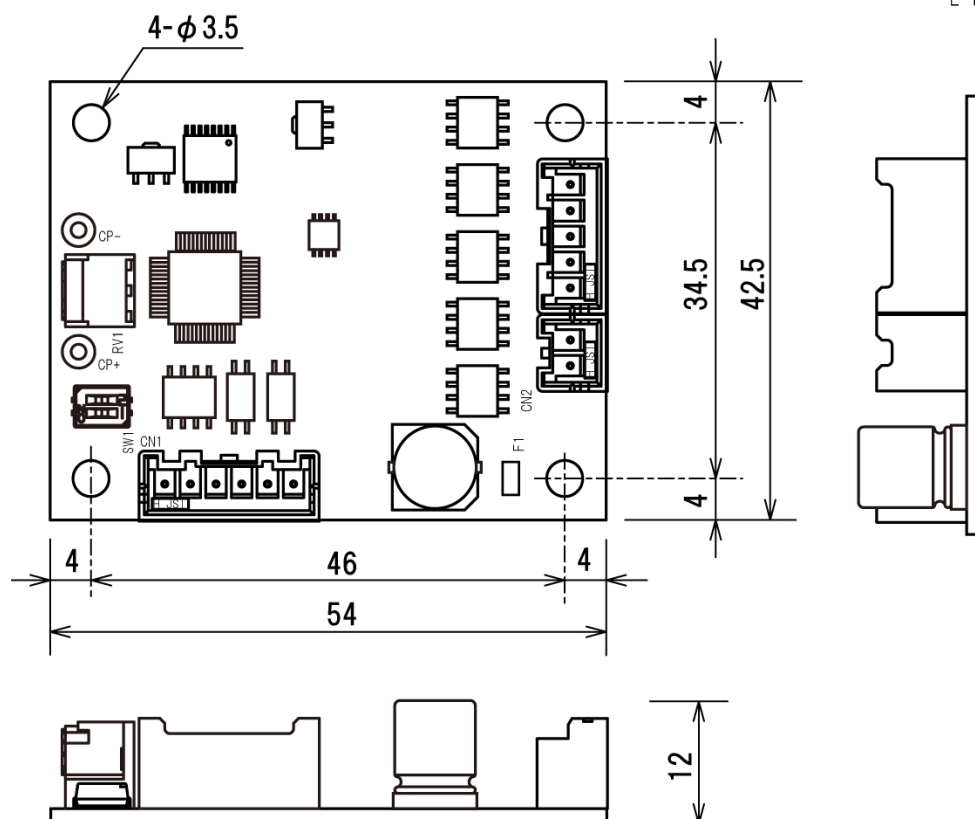
- ① 屋内
- ② 爆発性ガス、引火性ガス、及び腐食性ガス等の無い所。
- ③ 周囲温度 0～40℃、周囲湿度 0～85%範囲内の場所。
- ④ 水、油、及びほこり等のかからない所。
- ⑤ 本体に直接ものが当たったり振動を受けたりしない場所。

### 5-2 取付方法

本体は、自然対流冷却方式なので熱のこもらないように取付を行なって下さい。

金属のスペーサーは使用しないで下さい。

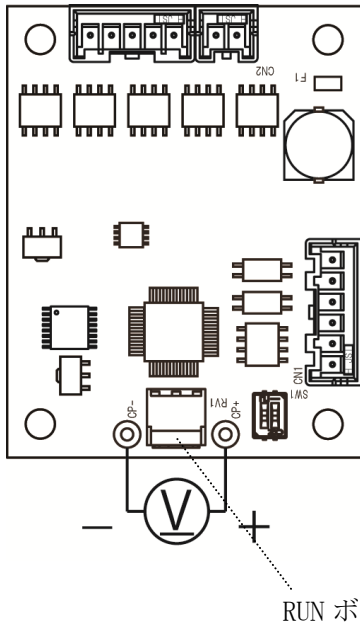
[単位：mm]



取付ネジ M3 4本（添付はされておられません。）

## 6. ドライバーの機能切換設定

### 6-1 駆動電流設定（モーター回転時の電流設定をします。）



モーター回転時の電流の設定はボード上のチェックポイント〔+〕〔-〕に電圧計を接続し、RUNボリュームを回して次式による電圧に設定します。

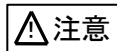
$$\text{チェック端子電圧} = \text{設定電流} \times 8 \quad (\text{V})$$

例：0.35Aのモーターを使用する場合は設定を2.8Vにします。

設定時には10pps以上のパルス信号を入力して下さい。

その際モーターは回転しますので十分注意を払い、機器の破損、けが等の無いようにして下さい。

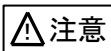
出荷時電流設定は0.35Aとなっております。



**注意**

電流設定を誤って設定すると、モーターが過度に発熱したり、十分なトルクが得られない場合があります。

### 6-2 停止時電流設定（回転時の約60%となっております。）



**注意**

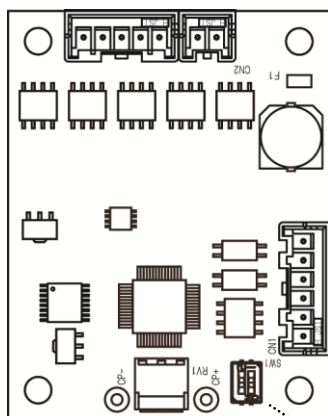
停止時の駆動電流は回転時の約60%となっております。

上下運動に使用されている場合、搬送物が落下してけがや機器の破損することがないように注意して下さい。



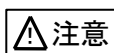
### 6-3 ステップ角の設定 (出荷時設定: OFF)

MC-S3ML



ボード上のデリップスイッチによりフル/ハーフステップを選択します。ステップ角0.72度の標準のモーターでは1回転のパルス数はフルステップ時500パルス、ハーフステップ時1,000パルスとなります。

No. 1	ON	フルステップ
	OFF	ハーフステップ



ステップ角の設定を誤ると、思わぬ動作により機器の破損、けが等の恐れがあります。



←

### 6-4 入力パルス選択スイッチ (出荷時設定: OFF)

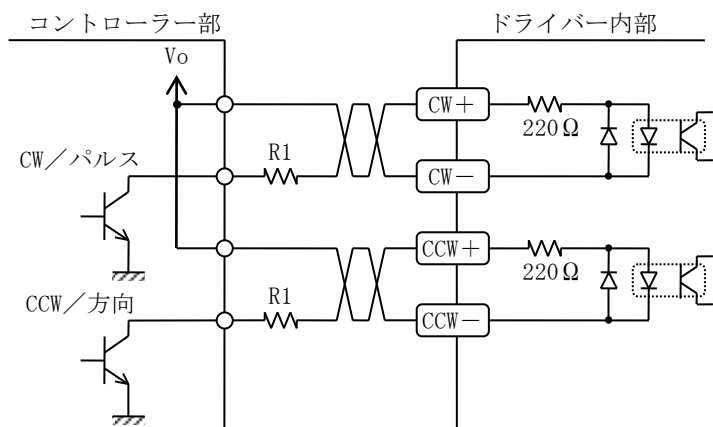
- 一般的に使用されている2種類のパルス入力方式に対応できます。(詳細は後述の入出力信号7-1項を参照して下さい。)
- コントローラーのパルス出力形式に合わせて設定します。

No. 2	ON	1パルス入力方式
	OFF	2パルス入力方式

- 1パルス入力方式とは、1系統のパルス信号及び回転方向のレベル信号に対応してモーターを駆動します。
- 2パルス入力方式とは、CW, CCWの2系統のパルス信号に対応してモーターを駆動します。

## 7. 入出力信号

### 7-1 CW信号入力、CCW信号入力



#### ・ 2パルス入力方式の場合

パルス信号をCWパルス信号入力端子に入力した場合パルスの立ち上がりでCW方向へモーターが動作します。

パルス信号をCCWパルス信号入力端子に入力した場合パルスの立ち上がりでCCW方向へモーターが動作します。

#### ・ 1パルス入力方式の場合

パルス信号をCWパルス信号入力端子に入力したパルスの立ち上がりでモーターが動作します。

モーターの回転方向はCCWパルス信号入力端子によって決まります。CCWパルス信号入力端子にレベル信号が入力されている場合、モーターはCW方向に動作します。

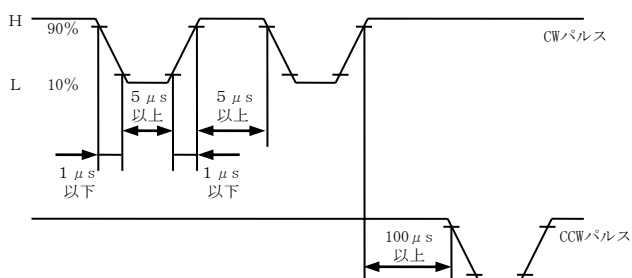
注：・パルスの立ち上がりとは、フォトカプラー回路に電流が流れ始める時を表します。

・レベル信号が入力されるとは、フォトカプラー回路に電流が流れる事を表します。

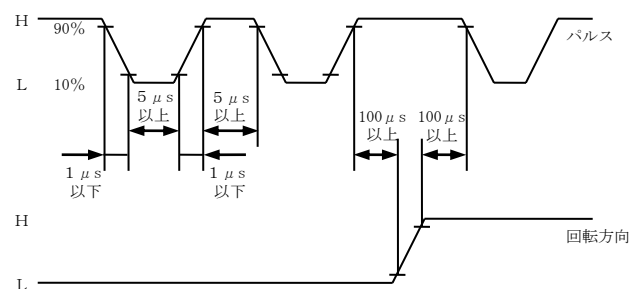
・上図回路の場合では、出力トランジスタがOFF→ONになる時モーターが回転します。

・2パルス方式の時、CW、CCW信号入力端子に同時に信号を入力しないで下さい。

#### 2パルス入力方式の場合



#### 1パルス入力方式の場合



(共に上図回路例の場合)



注・CW回転とは、モーター軸がモーター取付フランジ面より見て時計方向に回転することを表します。

注：CW, CCW信号で $V_o$ が5Vを越える時は外部抵抗R1を接続して下さい。

外部抵抗値R1の計算式（標準値）は以下の通りです。

$$R1 = (V_o - 1.6) / 0.008 - 220$$

実際の取付には上記 R1 の±10%の値の抵抗を使用して下さい。

$V_o$ が5Vの時はR1は不要です。

注：パルス電圧は、[1] = 3V~5V、[0] = -3V~0.5Vで、パルス幅は5 $\mu$ s以上、パルス間隔は5 $\mu$ s以上、立ち上がり時間は1 $\mu$ s以下として下さい。

方向反転インターバル時間（2パルス/1パルス方式共）は100 $\mu$ s以上として下さい。

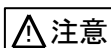
## 7-2 モーターフリー入力 HO

HO信号が入っている時はモーターに電流が流れなくなり、モーター軸を外力で回すことができます。モーター軸を外部から動かしたい時や、手動位置決めなどに使用します。

モーター駆動時には常にOFFにして下さい。

注：HO信号のON/OFF切換によってモーター励磁相が変化することはありません。

信号入力を使用しない場合は何も接続しなくても問題はありません。HO信号を入力後モーター軸を外力で回し、再励磁した場合はHO信号を入力する以前の位置の7.2度の整数倍回転した位置で励磁します（HO信号入力時にパルス信号を入力しない場合）。



上下運動に使用されているドライバーにHO信号を入力すると、搬送物が落下しけがや機器の破損する恐れがあります。

注：HO信号で $V_o$ が5Vを越える時は外部抵抗R2を接続して下さい。

外部抵抗値R2の計算式（標準値）は以下の通りです。

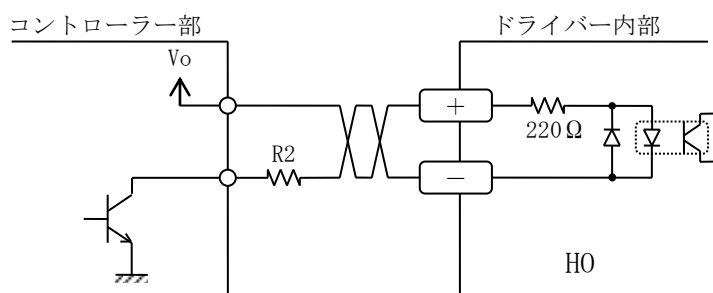
$$R2 = (V_o - 1.2) / 0.008 - 220$$

実際の取付には上記R2の±10%の値の抵抗を使用して下さい。

$V_o$ が5Vの時はR2は不要です。

注：パルス電圧は、[1] = 3V~5V、[0] = -3V~0.5Vとします。

### HO信号入力

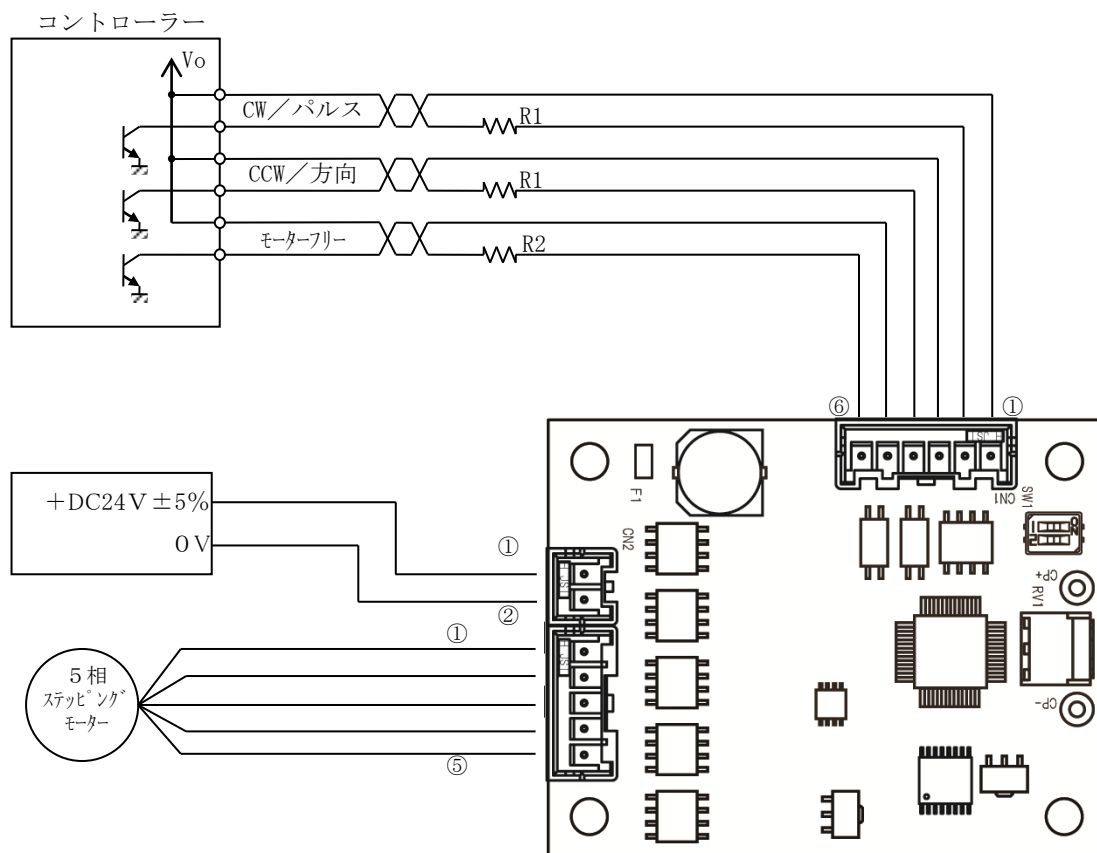


### R1, R2の参考値

$V_o = 12V$ の時	$R1 = 1.1k\Omega$ (1k $\Omega$ ~ 1.2k $\Omega$ )	$R2 = 1.1k\Omega$ (1k $\Omega$ ~ 1.2k $\Omega$ )	1/2W以上
$V_o = 24V$ の時	$R1 = 2.7k\Omega$ (2.4k $\Omega$ ~ 3k $\Omega$ )	$R2 = 2.7k\Omega$ (2.4k $\Omega$ ~ 3k $\Omega$ )	1/2W以上

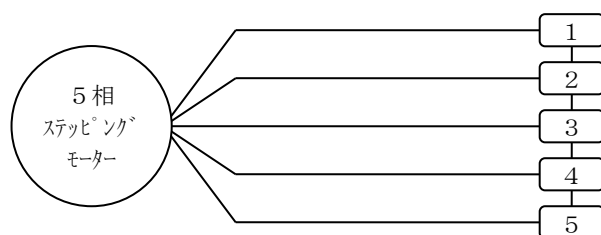
## 8. 接続

### 8-1 全体の接続例



### 8-2 モーターの接続

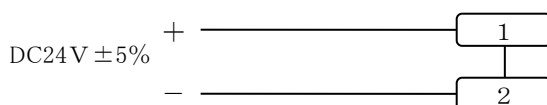
下記のリード線色に合わせてモーターの結線を行って下さい。



コネクタ	5本リード	10本リード
1	青	青/黒
2	赤	赤/茶
3	橙	橙/紫
4	緑	緑/黄
5	黒	白/灰
	①	②

- ① 多摩川精機又はオリエンタルモーターの5本リードモーター。
- ② 10本リードモーター。

## 8-3 電源接続



＋、－間には、DC24V ±5%の電源を接続して下さい。

## 8-4 EMC指令と規格適合に有効な設置、配線方法について

## ① EMC指令と適用規格

当社ではシールド付の信号ケーブルやモーターケーブルを使用し、電源ケーブルにはフェライトコアを追加してEMC指令(2014/30/EU)の要求規格に適合することを確認しています。

**本ドライバの適用規格**

- \*Emission → EN61000-6-4:2007 /A1:2011
- \*Immunity → EN61000-4-2:2009  
EN61000-4-3:2006+A1:2008+A2:2010  
EN61000-4-4:2012  
EN61000-4-6:2014

本ドライバはお客様の機械装置に組込んで用いる部品として設計・製造されており、EMC指令では、機械装置全体が規格に適合することが要求されます。また、機械装置ではドライバ、モーターや他の制御機器及びそれらの配置、配線によってEMC条件が変わることが予想されますので、お客様の装置がEMC規格に適合するかについては、装置全体で測定の上ご確認ください。

## ② 規格適合に有効な設置、配線方法

本ドライバを組込んだお客様の機械装置がEMC指令へ適合するために有効と考えられる設置、配線方法について説明します。

## ・モーターの接地

モーターは接地された装置の金属部にモーターを取り付けるか、取り付けビスと装置をワイアで接続して接地状態を確保してください。

## ・信号ケーブルの配線と接地

ドライバの信号ケーブルには編組シールドケーブル(長さ10m以下)を使用し、シールド線の接地には、編組シールド外周全体が接触するように金属製クランプをご使用ください。クランプはできるだけドライバ近くに配置するのが有効です。

## ・モーターケーブルの接続と接地

モーターケーブルには編組シールドタイプ(長さ10m以下)を使用し、シールド線の接地には、編組シールド外周全体が接触するように金属製クランプをご使用ください。クランプはできるだけドライバ近くに配置するのが有効です。

(モーターケーブル例) → 協和電線 5芯 MVV-S0.5

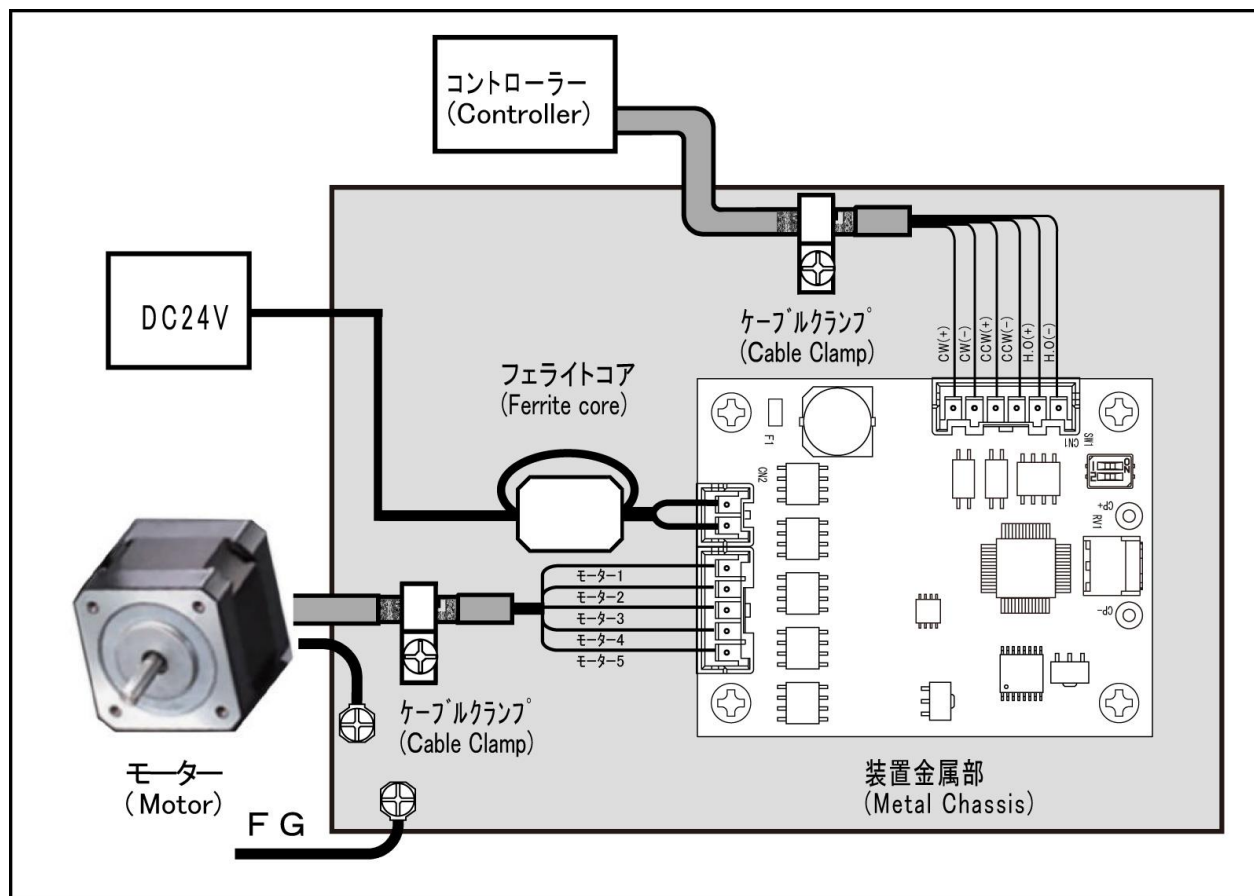
・電源ケーブルとフェライトコア

電源ケーブルは長さ 3 m以下を使用し、ドライバ近傍にクランプタイプのフェライトコアを追加してください。

(フェライトコア例) → TDK ZCAT1730-0730

また、電源ケーブルとモーターや信号ケーブルは束ねたりせずお互いを離して配線してください。

モーター、ドライバの設置、配線例

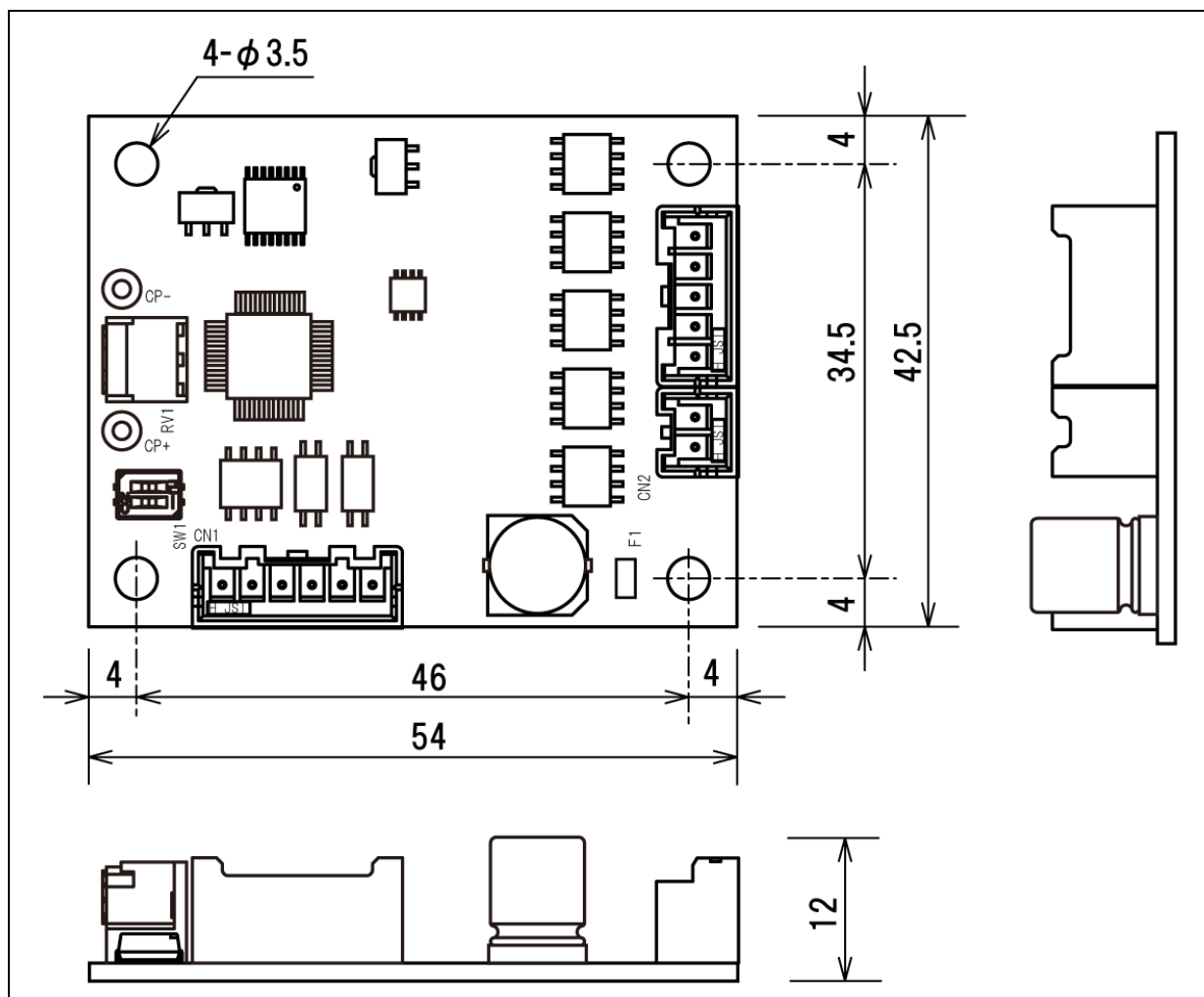


## 9. 仕様

品名	5相ステッピングモーター駆動装置
型名	MC-S 3ML
駆動方式	バイポーラペンタゴン駆動
入力電源	DC24V ±5% 0.8A Max.
駆動電流	0.12~0.35A/相
ステップ角	フルステップ/ハーフステップ
入力信号	フォトカプラー入力 [1] : 3~5V、[0] : -3~0.5V 入力抵抗 CW、CCW、HO : 220Ω
最大応答周波数	70kpps
機能	パルス入力方式切換、ステップ角切換、自動カレントダウン
質量	25 g
使用周囲温度	0~40℃ 凍結しないこと。
使用周囲湿度	0~85% 結露しないこと。

注：電源電流は設定電流、モーター回転数、モーター負荷等により異なります。

## 10. 外形図 [単位 : mm]



仕様は改良のため、予告なしに変更する場合がありますのでご了承下さい。

21-01

**MC** 株式会社 **マイクロステップ**  
MICRO STEP

〒351-0024 埼玉県朝霞市泉水1-3-40  
 TEL. 048-424-2783 FAX. 048-424-2784  
 URL. <http://www.microstep.co.jp>